

# 令和7年度 本校の教育目標及び経営方針

熊本市立山ノ内小学校

## 1 学校教育目標

### 豊かな心と生きて働く力を身に付けた子どもの育成

【校訓】心豊かに 理想は高く りりしく 強く 山ノ内

## 2 本校教育の基本

教育基本法、熊本市教育大綱及び熊本市教育振興基本計画に示された基本理念、熊本市教育方針と取組の方向等を受け、激しい社会環境の変化においてもたくましく生き抜くために、豊かな人間性、学びに向かう力、健やかな体を備えた、主体的に考え行動できる子どもを育てる。

## 3 教育目標設定の理由

近年、急速なAI技術の進展や価値観の多様化、気候変動による災害の増加など、社会はますます予測困難な時代を迎えている。また、グローバル化やデジタル化の進展により、情報の取捨選択や人とのつながり方が大きく変わる中で、子どもたちが自ら考え、判断し、行動する力がより一層求められる。

本校の子どもたちは、明るく素直で、思いやりのある子が多い。この良さをさらに伸ばし、変化の激しい社会の中でも柔軟に対応できる力を育むことが重要である。特に、自分や他者を大切にすることを「豊かな心」ととらえ、互いに支え合いながら成長していく力を育てたいと考える。また、これからの時代を生き抜くためには、協働しながら課題を解決する力が不可欠であり、多様な考えを受け入れ、試行錯誤しながら自ら学び、表現し、社会に貢献する力を「生きて働く力」として育成していく。

## 4 学校経営の基調

### ① 安心して生活できる学校 → 縦の系から横の系

- ・同じ課題でも、子どもの実態や背景を知ること、教師のとらえ方や対応が変わり、信頼関係が深まる。その先に、子ども同士のつながりが生まれ、より良い学級づくりにつながる。
- ・子どもの変化（欠席の増加、表情の曇り、登校時間の遅れなど）に敏感でありたい。クラスには、誰にも相談できず悩んでいる子どもがいるかもしれないという意識を常に持ち、アンテナを高く張る。
- ・いじめは決して許さず、命を大切にすることを徹底する。

### ② 子どもの夢の実現へ

- ・楽しく分かりやすい授業を目指す。教師自身が楽しめない授業では、子どもも楽しめない。授業づくり・教材研究を深め、指導の引き出しを増やす。
- ・校内研修では、教師の強みや実践を共有し、教師力・職員集団力の向上を図る。

### ③ 支えあう職員集団、保護者もつなぐ

- ・お互いの強みを生かし、苦手な部分は支え合う。困難な場面では、集団の力を活かす「チーム学校」の意識を大切にする。
- ・学級懇談会等で保護者同士をつなげることで、子どもや学校に関する課題解決がしやすくなる。児童の良さや頑張りを積極的に伝え、保護者とつながる。問題行動や指導上の課題は、家庭訪問で顔を合わせながら丁寧に伝える。
- ・山ノ内小のすべての子どもを大切にすることを職員集団を目指す。

### ④ 働き方改革

- ・日課や行事、会議等の見直し。（朝の観察の充実、部会等の組織再編成、会議の削減）
- ・担任の負担軽減（経営案等の簡素化、専科・教科担任制の活用推進）
- ・課業日の年休取得やワークライフバランス向上のための繰り上げ繰り下げ勤務がしやすい職場づくりと、支え合えるサポート体制の整備